

## 1 黄連解毒湯エキス

### 2 性状及び純度試験の項を次のように改める.

3 性状 本品は黄褐色～赤褐色の粉末又は黒褐色の軟エキスで、  
4 特異なおいがあり、味は極めて苦い。

### 5 純度試験

6 (1) 重金属 (1.07) 乾燥エキス1.0 g (軟エキスは乾燥物  
7 として1.0 gに対応する量)をとり、エキス剤(4)に従い検液を  
8 調製し、試験を行う(30 ppm以下)。

9 (2) 鉛 乾燥エキス5.0 g (軟エキスは乾燥物として5.0 g  
10 に対応する量)を白金製、石英製又は磁製のるつぼにとり、  
11 弱く加熱した後、450～550 °Cで強熱し、灰化する。冷後、  
12 残留物に2 mol/L硝酸試液少量を加え、必要ならばろ過し、  
13 2 mol/L硝酸試液少量で数回洗い、ろ液及び洗液を合わせ、  
14 2 mol/L硝酸試液を加えて正確に20 mLとし、試料溶液とす  
15 る。別に鉛標準液2.5 mLに2 mol/L硝酸試液を加えて正確に  
16 20 mLとし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、  
17 次の条件で原子吸光光度法 (2.23) により試験を行うとき、  
18 試料溶液の吸光度は標準溶液の吸光度以下である(5 ppm以  
19 下)。

20 使用ガス：

21 可燃性ガス アセチレン又は水素

22 支燃性ガス 空気

23 ランプ：鉛中空陰極ランプ

24 波長：283.3 nm

25 (3) ヒ素 (1.11) 乾燥エキス0.67 g (軟エキスは乾燥物と  
26 して0.67 gに対応する量)をとり、第3法により検液を調製し、  
27 試験を行う(3 ppm以下)。

28